

千秋病院はコロナの診療・検査医療機関

新型コロナウイルス感染症の総括と今後の対応

千秋病院コロナ対策統合本部 事務局長補佐 鶴川 典子

新しい感染症に明け暮れた1年

昨年は、新型コロナウイルス感染症の対応に追われた1年でした。2019年12月に中国・武漢で新型コロナウイルスの感染が初めて確認されました。

「第3波」到来

発熱やかぜ症状がある場合、事前に連絡して感冒・発熱外来受診を

1月16日には日本国内でも感染者が発生しました。そこから尾張健康友会グループでも新型コロナウイルス感染症への対応が始まりました。

20年11月からは第3波と言われ、再び感染者数が急増しました。第1波・第2波よりも感染者数は増加し、収まる気配がありません。一宮市内でも高齢者施設でクラスターが発生しました。

発熱等の症状が出た時は、我慢せずに千秋病院やかかりつけ医等の地域の医療機関を受診しましょう。

千秋病院は愛知県より「診療・検査医療機関」の指定を受けています。

また感染リスクが高まる「5つの場面」①飲酒を伴う懇親会等、②大人数や長時間に及ぶ飲食、③マスクなしでの会話、④狭い空間での共同生活、⑤居場所の切り替わりを意識して行動することも大切です。

室内にいるときは換気を実施しましょう。適度な保湿（湿度40%以上を目標）も大切です。加湿器の使用や洗濯物の室内干しも効果的と言われています。

新型コロナウイルス感染症の影響による失業や収入の減少等が原因で病院にかかることができな方も増加しています。もしお近くにお困りの方がいらつしやいましたら千秋病院へ相談するようお願いください。

感染症リスクが高まる「5つの場面」

場面1 飲酒を伴う懇親会等

- * 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下。聴覚が麻痺し大きな声になりやすい。
* 特に敷居などで区切られている狭い空間に長時間、大人数が滞在するとリスク大。飲み回しや箸などの共用も危険。



場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

- * 長時間の飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒は感染リスク大。
* 大人数、例えば5人以上の飲食は大声になりやすく危険。



場面3 マスクなしでの会話

- * マスクなしに近距離で会話することで、飛沫感染やマイクロ飛沫で感染リスク大。
* カラオケや、車やバスで移動する際の車中も要注意。



場面4 狭い空間での共同生活

- * 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスク大。寮のトイレなどの共有部分での感染が疑われる事例も。



場面5 居場所の切り替り

- * 仕事での休憩時間など、居場所が変わると気の緩みや環境変化で感染リスクが高まることも。休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例あり。



感染症から身を守るのに必要なことは

21年も新型コロナウイルス感染症との闘いは続きそうです。マスクの着用、3密回避、手洗い・うがい、消毒などの基本的な感染対策を徹底しましょう。

千秋病院研修医日誌 ③ 患者さんの望んでいること

1年目研修医 加藤 早苗

早いもので入職してから8か月が過ぎようとしています。私は10月、11月と千秋病院での研修を離れ、救急外来や外科研修をさせて頂きました。

室内にいるときは換気を実施しましょう。適度な保湿（湿度40%以上を目標）も大切です。加湿器の使用や洗濯物の室内干しも効果的と言われています。



アイコンタクトや唇の動き、表情等で、患者さんの訴えを、周りのみんなとくみ取る事が出来ていたからです。その患者さんの希望とは、「うちに帰りたい」という事でした。そのため、ついに患者さんの願いは実現しました。

千秋病院の「ほほえみポスト(御意見箱)」から

9月〜11月にお寄せいただいたご意見14件の中からご紹介いたします。

【ご意見】 職員は名札を付けてほしい。つけていない職員がいます。

【回答】 数名の職員が名札を付けていませんでした。これを機に全ての職員に徹底しました。

【ご意見】 検査室横のトイレに手すりをつけてほしい。車いすトイレには手すりがあるが、車いすに乗っていないので気がひける。

【回答】 設置の手配をしていますのでしばらくお待ちください。また、優先トイレ(車いす用トイレ)は、身体の不自由な方、小さなお子様連れの方、杖やシルバーカーの方々にも気兼ねなくご利用いただけるように表示を変更しました。

【ご意見】 呼び出す時、番号があるのに名前を呼ばれるのはどうかな? しかも大きな声で...

【回答】 番号ではお気づきにならない場合に名前をお呼びしていました。マスクで声が聞き取りにくいため大きな声にもなっていました。今後は番号表示による呼び出しなども検討します。